

いちはら福祉ネットの は 一 と 通 信

2022. 2. 1発行
VOL.61

発行者 中核地域生活支援センター いちはら福祉ネット(千葉県委託事業)
〒290-0074 千葉県市原市東国分寺台3-10-15
TEL 0436-23-5300 FAX 0436-23-5225
ホームページ http://park22.wakwak.com/~ichihara_f.net/
メールアドレス ichihara_f.net@bh.wakwak.com



年4回発行(4,000部)

いざという時のために **知って安心 成年後見制度**

～ご存知ですか？市原市成年後見支援センター～

皆さんは、成年後見制度をご存知でしょうか？「聞いたことはあるけど、どんな制度なのかはよくわからない…」といった方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

成年後見制度は、認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力の不十分な方が、不動産や預貯金などの財産管理、福祉サービス利用や施設入所に関する契約締結など日常生活に必要な手続きに関して、本人の不利益にならないよう保護し支援する制度のことで、平成12年から制度が開始されています。



【出典：「成年後見制度利用促進のご案内」(<https://guardianship.mhlw.go.jp>)】

令和元年12月末現在、成年後見制度の利用者数は全国で224,442人(前年は218,142人)となっており※、制度を活用する人は年々増加していますが、制度理解はまだ不十分だという意見が多く聞かれます。

このような状況から、平成28年、成年後見制度の利用の促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的に、国は『成年後見制度の利用の促進に関する法律』を制定しました。市原市では、令和3年に『市原市成年後見制度利用促進基本計画』が策定され、成年後見制度の広報・啓発や市民等の相談窓口を担う「市原市成年後見支援センター(以下：後見支援センター)」が新たに設置されています。

そこで、今回は一と通信では後見支援センターの取材を行い、活動の内容や相談の実際について紹介したいと思います。

※出典：「市原市成年後見制度利用促進基本計画」

○後見支援センターで行っている業務はどのようなものですか？

成年後見制度に関する業務と福祉サービス利用援助事業※2に関する業務の2つを行っています。内容は以下のようになっています。

<p>成年後見制度に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ①成年後見制度の普及・啓発 ②成年後見制度に関する相談・支援 ③法人後見※3の受任 	<p>福祉サービス利用援助事業に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ①福祉サービスの利用援助 ②財産管理サービス ③財産保全サービス
---	--

※2 ご本人と社会福祉協議会が直接契約を行う第二種社会福祉事業

※3 社会福祉法人やNPOなどの法人が成年後見人になり支援する形態

○後見支援センターに相談に来るきっかけはどのようなものでしょうか？

例えばご家族からは、「認知症の親が訪問業者に騙され高額な健康器具を購入した。家族では対応しきれず困っている」「障害のある子どもがいるが親なき後のことが心配」といった相談や、ご本人から「子どもがいなくて将来認知症になった時誰が支えてくれるのか不安」「成年後見制度の利用を考えているが利用するメリット・デメリットなどを知りたい」といった内容のご相談をお受けすることが多くあります。

また、実際に制度を利用しようと考えていても、裁判所への申し立ての書類の作成方法などが難しいので相談したいという方も多くいらっしゃいます。

○どのような対応をされていますか？

成年後見制度は一度開始すると、基本的にはご本人が亡くなるまで利用することになるので、まずは制度を正しく理解して頂くよう心掛けています。また、裁判所への申し立て書類に関する相談は、書類の取り寄せ方法・記載方法など具体的な助言や支援を行っていますが、1回で終わる方は少なく、3～4回位はかかるのが現状です。

ご本人やご家族で書類作成が難しい場合は、法律的に弁護士か司法書士しか申立書の作成は出来ないのので、弁護士会・リーガルサポート千葉県支部（司法書士会）を紹介しています。また、月に1度弁護士相談を予約で受け付けていますので、法的な問題を抱えている方は是非ご利用ください。制度利用時だけでなく、実際に親族の方が後見人に選任された後に、裁判所への報告書類がわからない、土地などの財産を売らなくてはいけなくなったがどうすればよいのかなど、後見人になった方への支援も常時行っています。

○今後について教えてください

今年度はコロナ禍の影響もあり、地域での活動が難しい状況でしたが、今後は研修会等を開催し、成年後見制度を正しく理解していただき、成年後見制度の利用を促進していきたいと考えています。また、今後担い手を増やすために市民後見人の養成も行っていく予定です。

まとめ

成年後見制度の利用を促進する法律には、財産の管理や日常生活等に支障がある人たちを社会全体で支え合うことが、高齢社会における重要な課題であり、共生社会の実現の助けになることだという趣旨の文言があります。市原市成年後見支援センターは成年後見制度のことを相談できる身近な窓口です。誰もが安心して生活できる社会に近づいていくために、成年後見制度の理解を進めていきましょう。

問い合わせ先

市原市成年後見支援センター（市原市委託事業）
 社会福祉法人 市原市社会福祉協議会
 〒290-0075 市原市南国分寺台4-1-4
 電話 0436-26-6200 FAX 0436-22-3031



中核地域生活支援センター大会 in2021

～つながり続けることから見えてきたこと～

今年度も中核地域生活支援センター大会がWEB配信されます。ぜひご覧ください！

【内容】活動報告・当事者インタビュー・実践報告・クロストーク

※活動報告の詳細は「中核白書2020」と検索

【配信期間】令和3年12月15日(水)～

令和4年2月14日(月)



← ご視聴はこちらから 視聴無料

QRコードまたはYoutubeで「中核地域生活支援センター大会in2021」と検索

第13回千葉県障害者グループホーム大会

～自分らしく生きるための意思決定支援とは～

今年度もYoutubeでの動画配信となります。皆様ぜひご覧ください。

【配信期間】

令和4年2月14日(月)～2月28日(月)

【内容】意思決定支援・虐待防止と権利擁護・障害者グループホーム制度をテーマにした3講演を配信。

【申込方法】QRコードを読み取り、必要事項を入力してお申し込み下さい。

【問合せ】千葉県健康福祉部障害福祉事業課

担当：永島 TEL：043-223-2308



第14回市原市精神保健福祉フェスタ

～誰もが住みやすい街を目指して～

今回のテーマは『新しい生活 とり戻す絆』。精神疾患は誰でも罹りうる病気です。疾患を正しく理解し、共生の街づくりを行うために何が必要なのか一緒に考えませんか？

【日時】令和4年3月19日(土) 13:00～

【会場】市原市市民会館大ホール

【内容】

○講演『共生社会の具現化を目指して～障がい者就労が社会に果たす意味について～』
鈴木慶太氏（元NHKアナウンサー・株式会社Kaizen代表取締役）

○講演『大切に思うもの～障害がある人もない人も共に暮らしやすい街を目指して～』
稲川淳二氏（タレント・怪談家・工業デザイナー）

○ステージ

市民コーラスサークルフラップダッシュ

【対象】一般市民 【参加費】無料

【問合せ先】市原市役所障がい者支援課

TEL：0436-23-9815

市原市精神保健福祉フェスタ実行委員会事務局

TEL：0436-24-2925（はばたき）

※感染拡大により開催変更もあり得ます為、詳細に関してはお問い合わせください。



「障害者グループホーム等支援ワーカーの活動紹介」④

今号では、障害者グループホーム（以下、GH）への入居を支援する方（行政や病院のソーシャルワーカー、相談支援専門員など。以下、入居支援者）への相談支援について紹介していきます。

入居支援者からの相談は、「GHの場所は知っているが、雰囲気や各GHの特徴までは把握していないので、入居希望者とGHが合うのか判断が難しい」といったものが多くあります。

支援ワーカーは、各GHへの定期訪問や相談対応を通じてGHの実態を把握し、また、管理者・サービス管理責任者・世話人・生活支援員と情報交換をして得た情報をもとに、入居希望者の条件に合うGHとのマッチングを行っています。GHの情報は、市内だけではなく他圏域の支援ワーカーと連携を図りながら、県内全体の情報を把握しています。

今年度は、支援ワーカーに寄せられる具体的な相談内容と対応方法について紹介してきました。GHについて、少しでもご興味のある方は、ぜひ一度支援ワーカーまでご相談ください。

TEL：いちほら福祉ネット 0436-23-5300

Eメール：ichihara-ghw@ag.wakwak.com



旬の食材を使ったヘルシーメニュー

免疫力アップで寒い冬を乗り切ろう

白菜と水菜のぽかぽかスープ

(1人分：40Kcal)

材料 白菜 400g、水菜 80g、生姜 30g
(4人分) 調味料(醤油 小さじ2、塩コショウ 少々、鶏ガラスープ 大さじ2、ごま油 小さじ1)

- 作り方**…① 白菜、水菜を食べやすい大きさに切る。
 ② 生姜はおろしておく。
 ③ 鍋に水(600cc)を入れ、白菜、水菜がやわらかくなるまで煮る。
 ④ 白菜と水菜がやわらかくなったら、おろした生姜・調味料を鍋に入れて混ぜ合わせたら出来上がり。

栄養士さんからのおすすめの一言・・・

「白菜・水菜にはビタミンCや水分がたくさん含まれ、風邪予防にもなります。また、生姜をプラスすることで体を芯から温めてくれます。」

今回のレシピは、特別養護老人ホームトータス 管理栄養士 木村 優様に提供していただきました。

いちほら福祉ネット活動報告

【会議等出席・開催状況 R3/10/1～12/31】

- 10/16・11/20・12/18 ちはら台地区福祉の総合相談会
- 10/18・11/22・12/20 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 市原圏域実務者会議・研修会
- 12/21 市原市相談機関連絡会
- 10/13・27・11/11・24・12/8・22 意思決定支援アドバイザー
- 10/26・11/22 司法と福祉千葉モデル勉強会
- 10/21・11/19・12/10 市原地域リハビリテーション広域支援センター ちーき会(Web)
- 10/26・11/24・12/21 千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会 例会
- 10/26・11/30・12/23 市原市要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 11/17 市原市社会福祉協議会 理事会
- 10/28 令和3年度特別支援学校特別支援教育コーディネーター連絡協議会(Web)
- 10/7・12/10 令和3年度千葉県キャラバン・メイト養成研修
- 10/20・11/17 千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会 研修会・学習会
- 11/ 5 第17回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会(Web)
- 10/ 3 令和3年度依存症支援者研修(Web)
- 10/5・11/18 市原市障がい者支援協議会 権利擁護部会
- 10/4・10/28 市原市認知症対策連絡協議会 役員会・定例会(Web)
- 11/26 相談支援専門員研修会
- 11/8・11/29 市原市精神保健福祉フェスタ実行委員会 全体会・イベント企画・舞台係
- 10/ 6 千葉県中核地域生活支援センター大会in2021
- 10/22 貧困問題に関する懇談会(ZOOM)
- 11/30 居住支援に関する研修会
- 11/9・12/14 加茂地区民生委員児童委員協議会
- 11/16・12/21 青葉台地区福祉に関するなんでも相談会

私たち中核地域生活支援センター事業の理念は『誰もが、ありのままにその人らしく、地域で暮らすことのできる』地域社会の実現です。
 コロナ禍でもつながりを維持・強化していくために、私たちは地域で活動する様々な人たちとつながり、考え、行動をしていくことが必要だと感じています。

いちほら福祉ネットへの相談件数

(速報値)

令和3年10月～令和3年12月

延相談件数 1,957件(新規70件)

相談方法	対象者		
電話	1,462件	高齢者	107人
訪問	389件	障害者	919人
来所	78件	児童	134人
個別支援会議	28件	その他	797人

令和3年度(4月～12月)

延相談件数 5,691件

編集後記



年が明けてあっという間に1か月が経ちました。寒い日が続いていますが、2月4日は立春で暦の上では春になります。この日が過ぎると少しずつ寒さが和らいで、春の気配が近づいてくるといわれています。暖かい日差しが待ち遠しい今日この頃です。(スタッフ一同)